

(様式第9)

医大病第417号  
平成23年10月13日

北海道厚生局長 殿

北海道公立大学法人札幌医科大学  
理事長 島本和明

札幌医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	47.7人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	234人	236人	470人	看護補助者	8人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	11人	19人	理学療法士	21人	臨床検査技師	55人
薬剤師	31人	3人	34人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	30人	0人	30人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	674人	70人	744人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	3人	5人	8人	栄養士	0人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	4人	0人	4人	歯科技工士	3人	事務職員	82人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	45人	その他の職員	47人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	700.8人	30.5人	731.3人
1日当たり平均外来患者数	1496.7人	98.4人	1595.1人
1日当たり平均調剤数	1234.2 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可綴製義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	広汎子宮頸部摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 子宮頸癌の妊学性温存手術			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ペーチェット病	335人	・膿疱性乾癬	23人
・多発性硬化症	493人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	860人	・原発性胆汁性肝硬変	143人
・全身性エリテマトーデス	691人	・重症急性膵炎	49人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	13人
・再生不良性貧血	152人	・混合性結合組織病	101人
・サルコイドーシス	573人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	209人	・特発性間質性肺炎	255人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	5人	・網膜色素変性症	39人
・特発性血小板減少性紫斑病	260人	・プリオン病	21人
・結節性動脈周囲炎	0人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	309人	・神経線維腫症	112人
・大動脈炎症候群	103人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・ピュルガー病	63人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	221人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	297人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	154人	・副腎白質ジストロフィー	12人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	26人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	21人
・悪性関節リウマチ	46人	・脊髄性筋萎縮症	18人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	867人	・球脊髄性筋萎縮症	36人
・アミロイドーシス	75人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	61人
・後縦靭帯骨化症	584人	・肥大型心筋症	214人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	105人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	62人	・リンパ管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	32人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	34人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	101人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心エコー法	・
・HPV核酸同定検査	・
・腹腔鏡下肝切除術	・
・膀胱水圧拡張術	・
・強度変調放射線治療	・
・センチネルリンパ節生検(単独法)	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	84回
部 検 の 状 況	部検症例数 31例 / 部検率 15.00%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
炎症を基盤とした未分化型胃癌のエピジェネティクス解析と発癌リスク予測	篠村 恭久	内科学第一講座	4,100,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
腸管炎症と発癌に対する幹細胞治療の開発	有村 佳昭	内科学第一講座	1,400,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
三重特異性抗体を用いた進行肝細胞癌に対する治療法の確立	佐々木 茂	内科学第一講座	700,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
消化器癌細胞および癌幹細胞の網羅的エピゲノム解析	鈴木 拓	内科学第一講座	1,600,000	⑤ 文部科学省
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	高橋 裕樹	内科学第一講座	300,000	⑤ 東京大学
TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)の病態の解明と診断基準作成に関する研究	高橋 裕樹	内科学第一講座	1,200,000	⑤ 九州大学
蛋白脱アセチル化酵素SIRT1の活性制御機構解明と心不全への治療	丹野 雅也	内科学第二講座	1,000,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
心筋細胞保護シグナルにおけるコネクシン43の役割	三浦 哲嗣	内科学第二講座	900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
悪性新生物と動脈硬化疾患の発症リスクにおける耐糖能異常の関与の疫学検討	斎藤 重幸	内科学第二講座	1,800,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	島本 和明	内科学第二講座	1,200,000	⑤ 東京大学
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	斎藤 重幸	内科学第二講座	2,000,000	⑤ 滋賀医科大学
2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究	斎藤 重幸	内科学第二講座	500,000	⑤ 滋賀医科大学
今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	吉田 英昭	内科学第二講座	1,000,000	⑤ 福島県立医科大学
びまん性肺疾患に関する調査研究班	高橋 弘毅	内科学第三講座	1,300,000	⑤ 自治医科大学
肺コレクチンを用いた薬剤性肺障害の制御	高橋 弘毅	内科学第三講座	900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
肺筋線維芽細胞にHSP47siRNA特異的導入による肺線維症治療薬の開発	大塚 満雄	内科学第三講座	1,100,000	⑤ 文部科学省
特異的線維化療法によるスキルス胃癌の新規治療法の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	3,900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
癌がん細胞を標的とした新しい抗がん療法の開発	加藤 淳二	内科学第四講座	4,400,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
C型肝炎における鉄代謝調節因子GDF15へヘプシン制御機構の解明とその治療応用	宮西 浩嗣	内科学第四講座	1,200,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌特異的に抗がん剤を送達する新規システムの開発	佐藤 康史	内科学第四講座	1,000,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍細胞と間質細胞をデュアルターゲットとした新規腫瘍幹細胞根絶法の開発	小船 雅義	内科学第四講座	900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌特異的な転移制御分子を標的とした新しいミサイル療法の開発	佐川 保	内科学第四講座	1,900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
mTORを標的としたオートファジー誘導型の新しいB細胞リンパ腫治療法の開発	佐藤 勉	内科学第四講座	1,500,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
VA-Lip-siRNAを使用した肝癌予防法の開発	村瀬 和幸	内科学第四講座	1,200,000	⑤ 文部科学省
GST-πを標的とした膵管癌の化学予防	林 毅	内科学第四講座	1,500,000	⑤ 文部科学省
膵癌に対する超音波内視鏡下薬物局注療法及び動注化学療法による新規集学的治療の開発	石渡 裕俊	内科学第四講座	1,900,000	⑤ 文部科学省
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	加藤 淳二	内科学第四講座	500,000	⑤ 久留米大学
ヘモクロマトーシスの実態調査と診断基準作成	小船 雅義	内科学第四講座	2,000,000	⑤ 旭川医科大学
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	平田 公一	外科学第一講座	11,150,000	⑤ 厚生労働省
免疫逃避を制御するHDAC阻害剤併用によるワクチン療法の開発	平田 公一	外科学第一講座	1,900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
肝修復・肝再生における肝組織幹細胞の臨床的・基礎的役割に関する基礎的研究	平田 公一	外科学第一講座	8,800,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
Hsp90によるシャペロン分子の時空間制御と免疫応答	奥谷 浩一	外科学第一講座	1,400,000	⑤ 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膵頭十二指腸切除術後における消化管機能の多面的解析	秋月 恵美	外科学第一講座	1,200,000	補委 文部科学省
国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究	平田 公一	外科学第一講座	6,000,000	補委 国立がんセンター中央病院
超冷却保存された小型肝細胞によるヒト肝細胞化ハイブリッドマウスの開発	水口 徹	外科学第一講座	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
間質細胞を介した新しい大腸癌治療法の開発	古畑 智久	外科学第一講座	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト胃癌細胞の転移形式別にみた特異的転移関連因子の解析	木村 康利	外科学第一講座	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
熱・振動・圧力低エネルギー複合化による新しい生体組織接合技術の確立	樋上 哲哉	外科学第二講座	1,000,000	補委 茨城大学
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	樋上 哲哉	外科学第二講座	500,000	補委 国立循環器センター
神経変性疾患に対する骨髄幹細胞移植による新規治療法開発の基礎研究	下濱 俊	神経内科学講座	3,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
過疎の進む地域の医療従事者に対するスロークチームによる卒後・職能教育	齊藤 正樹	神経内科学講座	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒストン脱アセチル化酵素SIRTの神経変性疾患の病態生理における機能解析	久原 真	神経内科学講座	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明	今井 富裕	神経内科学講座	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
軟部肉腫に対する抗血管新生療法確立のための基礎的研究	加谷 光規	整形外科科学講座	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ロボットシステムを用いた足関節-距骨下関節複合体の生体力学的研究	渡邊 耕太	整形外科科学講座	2,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腰痛の診断・治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,200,000	補委 千葉大学
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,000,000	補委 京都府国立医科大学
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	山下 敏彦	整形外科科学講座	500,000	補委 愛知医科大学
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	和田 卓郎	整形外科科学講座	350,000	補委 九州大学
難治性慢性疼痛の実態と病態の解明に関する研究(H22-神経-筋一般-023)	山下 敏彦	整形外科科学講座	500,000	補委 愛知医科大学
皮膚形成異常におけるてんかん原性と脳機能に関わる病態解明と外科的治療の研究	三國 信啓	脳神経外科学講座	101,492	補委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子組換え骨髄幹細胞の静脈内移植による骨髄損傷治療の基礎的研究	野中 雅	脳神経外科学講座	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨髄幹細胞治療の特性を利用した脳動脈瘤に対する血管内治療	飯星 智史	脳神経外科学講座	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脳梗塞に対する間葉系幹細胞移植におけるガングリオンドの神経再生への関与	三上 毅	脳神経外科学講座	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
神経幹細胞と癌幹細胞の比較解析	秋山 幸功	脳神経外科学講座	900,000	補委 文部科学省
脳損傷後機能代償機構の解明	三國 信啓	脳神経外科学講座	1,500,000	補委 京都大学
婦人科腫瘍でのギャップ結合を介するバイスタンダー効果の遺伝子治療への応用	斎藤 豪	産婦人科学講座	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子多型は多嚢胞性卵巣症候群の疾患感受性、薬剤応答性を規定する	馬場 剛	産婦人科学講座	1,100,000	補委 文部科学省
病院間及び院内の連携体制の構築並びに医療計画の策定及び推進手法に関する研究	齋藤 豪	産婦人科学講座	600,000	補委 北海道大学
2本鎖RNAの抗RSウイルス作用を媒介するメディエーターの解明	永井 和重	小児科学講座	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ガンシクロビル耐性ヒトサイトメガロウイルスのUL97遺伝子変異に関する研究	堤 裕幸	小児科学講座	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ガンシクロビル耐性ヒトサイトメガロウイルスのUL97遺伝子変異に関する研究	要藤 裕孝	小児科学講座	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究	堤 裕幸	小児科学講座	2,000,000	補委 国立感染研究所
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	堤 裕幸	小児科学講座	800,000	補委 岡山大学
小児期のリウマチ・膠原病の難治性病態の診断と治療に関する研究	永井 和重	小児科学講座	500,000	補委 横浜市立大学
高解像度MRIを用いた視神経疾患における神経内代謝物質の組成解析	橋本 雅人	眼科学講座	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
視細胞特異蛋白質リカバリンの病変所発現がもたらす癌関連網膜症発症機序の解明	大黒 浩	眼科学講座	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
各種遺伝性網膜変性モデル動物における光ストレスの影響	石川 太	眼科学講座	1,600,000	神委 文部科学省
SIRT1を標的とする新しいメタノーム治療の展開	山下 利春	皮膚科学講座	1,600,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
悪性黒色腫個別化治療を目指した薬剤感受性と遺伝子異常の関連解析	肥田 時征	皮膚科学講座	1,900,000	神委 文部科学省
線維性皮膚炎における骨髄由来間葉系前駆細胞の分化異常と過剰癒痕の形成機序	小野 一郎	皮膚科学講座	300,000	神委 東邦大学
高悪性度禁層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	4,000,000	神委 厚生労働省
勃起(海绵体)神経の再生医療-神経栄養因子による遺伝子治療と神経再生の機序の研究	久末 伸一	泌尿器科学講座	1,100,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
腎細胞癌におけるPHD3の機能解析および臨床応用のための研究	田中 俊明	泌尿器科学講座	1,500,000	神委 文部科学省
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,000,000	神委 東京大学
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	250,000	神委 九州大学
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同試験	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,000,000	神委 国立がんセンター
小児アレルギー性鼻炎の発症および重症化の寄与因子の検討～早期介入への戦略	金泉 悦子	耳鼻咽喉科学講座	500,000	神委 文部科学省
ヒト粘膜上皮M細胞の機能解析および分化誘導:鼻粘膜DDSを介する新しい治療戦略	郷 充	耳鼻咽喉科学講座	1,200,000	神委 文部科学省
上中咽頭癌のEMTにおけるEBVとHPVによるサイト結合の変化	高野 賢一	耳鼻咽喉科学講座	1,900,000	神委 文部科学省
粘膜上皮と上皮内樹状細胞の相互作用制御による抗原認識機構の調節	黒瀬 誠	耳鼻咽喉科学講座	1,900,000	神委 文部科学省
アレルギー性鼻炎における上皮産生サイトカインの役割とその調節機構の解明	亀倉 隆太	耳鼻咽喉科学講座	1,900,000	神委 文部科学省
小児睡眠呼吸障害診断ガイドライン作成のための研究	新谷 朋子	耳鼻咽喉科学講座	200,000	神委 滋賀医科大学
地域イノベーションクラスタープログラム	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	6,363,637	神委 北海道科学技術 総合振興センター
子供の健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	遠藤 俊明	耳鼻咽喉科学講座	2,794,105	神委 北海道大学
好酸球性副鼻腔炎の疫学、診断基準作成等に関する研究(H22-難治一般-208)	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	700,000	神委 福井大学
神経回路発達障害は小児期の認知・行動異常を説明するか-精神機能と神経幹細胞移植-	齋藤 利和	神経精神医学講座	4,700,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
神経新生とうつ病治療:末梢血因子と内在性神経幹細胞活性化による新治療ストラテジー	橋本 恵理	神経精神医学講座	1,200,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
統合失調症の新たな治療法開発-薬物・細胞combined療法は有効か-	鶴飼 涉	神経精神医学講座	1,100,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
末梢静脈から移植された神経幹細胞の運命:精神疾患への臨床応用を目指して	吉永 敏弘	神経精神医学講座	1,500,000	神委 文部科学省
社会脳の再生:FASDモデルにおけるエビジェネティック異常の改善と神経回路網修復	白坂 知彦	神経精神医学講座	1,600,000	神委 文部科学省
脳機能の性差に着目した広汎性発達障害の病態解明と診断補助ツールの開発	館農 勝	神経精神医学講座	1,600,000	神委 文部科学省
レビー小体型認知症における診断マーカー	小林 清樹	神経精神医学講座	1,600,000	神委 文部科学省
アルコールを含めた物質依存に対する病態解明及び心理社会的治療法の開発に関する研究	齋藤 利和	神経精神医学講座	880,000	神委 国立精神・神経医 療研究センター
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	橋本 恵理	神経精神医学講座	850,000	神委 国立精神・神経医 療研究センター
放射線増感剤ギメラシルの臨床応用に向けた研究	坂田 耕一	放射線医学講座	900,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
早期に臨床応用可能な放射線増感剤の研究	晴山 雅人	放射線医学講座	1,300,000	神委 独立行政法人 日本学術振興会
分子標的放射線増感剤の研究	染谷 正則	放射線医学講座	1,600,000	神委 文部科学省
新しい三者併用療法の開発~放射線治療+温熱療法+増感剤~	高木 克	放射線医学講座	1,800,000	神委 文部科学省
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	350,000	神委 東北大学
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	700,000	神委 国立がんセンター 中央病院
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	兵頭 秀樹	放射線医学講座	300,000	神委 国立循環器セン ター
手術後痛における個人差の機序の解明とテララーメイド鎮痛の確立	杉野 繁一	麻酔科学講座	500,000	神委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しい吸入麻酔薬デスフルランの気道過敏性亢進作用の機序解明	山蔭 道明	麻酔学講座	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
抗IAP抗体スクリーニングアレイを用いた癌診断法の実用化	渡邊 直樹	臨床検査医学講座	3,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
咬合・咀嚼障害が血清抗菌力能に与える影響についての研究	田中 真樹	臨床検査医学講座	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
胚性幹細胞複製分子を用いた新たな肺癌診断マーカーの開発	小林 大介	臨床検査医学講座	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
がんのAKT経路解析によるEGFR分子標的薬の効果予測およびその増強	栗林 景晶	臨床検査医学講座	1,100,000	補委 文部科学省
カルシトニン遺伝子関連ペプチドファミリーによる痛みの機序解明	成松 英智	救急・集中医学講座	100,000	補委 信州大学
有機リン剤(農薬・神経剤)中毒に対する治療薬・予防薬の神経学的作用機序の解明	成松 英智	救急・集中治療医学講座	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
蘇生後脳症に対する幹細胞移植のトランスレーショナルリサーチ	宮田 圭	救急・集中治療医学講座	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
乳酸値(d体)を用いた腸管虚血・壊死の早期診断法の確立	巽 博臣	救急・集中治療医学講座	1,200,000	補委 文部科学省
救急医療体制の推進に関する研究	浅井 康文	救急・集中治療医学講座	700,000	補委 日本医科大学
口腔がんにおけるβカテニン遺伝子異常の解析とがん治療への応用	平塚 博義	口腔外科学講座	6,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
口腔がんに対するがんペプチドワクチン療法の開発	宮崎 晃亘	口腔外科学講座	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
口腔癌におけるSFRP遺伝子の発現解析と分子標的の開発	曾我部 陽平	口腔外科学講座	1,600,000	補委 文部科学省
口腔癌における腫瘍内微小血管形成に関する転写因子の役割の解明	萩 和弘	口腔外科学講座	900,000	補委 文部科学省
PCOSモデルとして、男性ホルモン投与性同一性障害障害症例を用いた研究	遠藤 俊明	産科周産期科学	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
局所免疫寛容を誘導する同種再構築皮膚の開発に関する基礎研究	松本 佳隆	形成外科学	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
klothoマウスを用いたヒト老化皮膚潰瘍モデルによる治癒遅延メカニズムの解明	山下 建	形成外科学	1,100,000	補委 文部科学省
肉腫の病理学的治療効果判定・精度保証システム構築	長谷川 匡	病理診断学	1,300,000	補委 国立がんセンター
半側空間無視に対するプリズム順応を用いた治療に関する検討	太田 久晶	リハビリテーション医学	300,000	補委 文部科学省
「慢性疼痛患者の語り」データベース化への試み	本間 真理	リハビリテーション医学	100,000	補委 東海大学
介護家族と介護職のウェルビーイングに関する定性的・定量的両手法による融合的研究	本間 真理	リハビリテーション医学	100,000	補委 北翔大学
骨軟部肉腫の新規腫瘍抗原を標的としたペプチドワクチン療法の開発	和田 卓郎	道民医療推進学講座	2,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
若年女性への「乳がん」教育による意識改革の効果の検討	大村 東生	道民医療推進学講座	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
難治性形質細胞疾患の臨床病態に関連したエピジェネティック異常の解析	安井 寛	道民医療推進学講座	1,600,000	補委 文部科学省
幹細胞抗原特異的ワクチン療法の開発に向けた肉腫幹細胞の同定と免疫学的特性の解明	和田 卓郎	道民医療推進学講座	1,300,000	補委 国立がんセンター

計128件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol 2010,16:5779-5789	A candidate targeting molecule of insulin-like growth factor I receptor for gastrointestinal cancers	Shinomura Y	第一内科
Autoimmunity Reviews 2010,8:591-594	The birthday of a newsyndrome:Ig4-related diseases constitute a clinical entity	Shinomura Y	第一内科
Tumor Res 2010,45:21-31 review of	Epigenetic biomarkers for prediction of sensitivity to chemotherapeutic drugs in multiple myeloma	Shinomura Y	第一内科
Gastroenterology& Clinical Gastroenterologyand Hepatology 2010 5:10-15	消化管腫瘍形成過程におけるSox17の誘導と発現低下の役割	篠村 恭久	第一内科
Frontiers in Gastroenterology 2010,15:156-157	ブドウ糖の欠乏は大腸癌細胞におけるKRASシグナル経路の遺伝子変異を誘導する	篠村 恭久	第一内科
Frontiers in Gastroenterology 2010,15:162-163	大腸癌におけるDNA低メチル化は予後不良と相関する	篠村 恭久	第一内科
臨床消化器内科 2010,25:1341-1348	遺伝性非ポリポーシス大腸癌(HNPCC)	篠村 恭久	第一内科
日本臨床 2010,68(増刊号):597-600	IgG4関連疾患	篠村 恭久	第一内科
消化器内科 2010,50:115-120	GISTにおけるジェネティック・エピジェネティックな異常	篠村 恭久	第一内科
分子消化器病 2010,7:44-48	small RNAsの発現制御は消化器疾患治療にどのように応用されるのか	篠村 恭久	第一内科
Cardiovasc Drugs Ther. 2010 Jun;24(3)	Mitochondria and GSK-3beta in cardioprotection against ischemia/reperfusion injury.	三浦哲嗣	第二内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2010 Apr;298(4)	Role of the gap junction in ischemic preconditioning in the heart.	三浦哲嗣	第二内科
J Mol Cell Cardiol. 2010 Apr;48(4)	Epicardium and pericardium: a joint force for infarct repair?	三浦哲嗣	第二内科
J Nucl Med. 2010 Aug;51(8)	Impaired cardiac sympathetic innervation and myocardial perfusion are related to lethal arrhythmia: quantification of cardiac tracers in patients with ICDs.	橋本暁佳	第二内科
Endocr J. 2010;57(9) Aug 24.	Associations of metabolic factors, especially serum retinol-binding protein 4 (RBP4), with blood pressure in Japanese—the Tanno and Sobetsu study.	齋藤重幸	第二内科
J Emerg Med. 2010 Sep 16.	Delayed Visceral Bleeding from Liver Injury after Cardiopulmonary Resuscitation.	神津英至	第二内科
Circ Cardiovasc Qual Outcomes. 2010 Sep;3(5)	Body mass index and risk of stroke and myocardial infarction in a relatively lean population: meta-analysis of 16 Japanese cohorts using individual data.	齋藤重幸	第二内科
Cardiovasc Res. 2010 Oct 1;88(1)	Mitochondrial kinase signalling pathways in myocardial protection from ischaemia/reperfusion-induced necrosis.	三浦哲嗣	第二内科
J Mol Cell Cardiol. 2010 Nov;49(5)	Roles of phospho-GSK-3β in myocardial protection afforded by activation of the mitochondrial K ATP channel.	三浦哲嗣	第二内科
Circ J. 2010 Nov;74(11)	Cytoskeletal proteins: hidden targets of cytoprotective signaling?	三浦哲嗣	第二内科
Cardiovasc Drugs Ther. 2010 Dec;24(5-6)	Erythropoietin (EPO) affords more potent cardioprotection by activation of distinct signaling to mitochondrial kinases compared with carbamylated EPO.	三浦哲嗣	第二内科
Hypertension. 2011 Jan;57(1)	Hypertensive hypertrophied myocardium is vulnerable to infarction and refractory to erythropoietin-induced protection.	矢野俊之	第二内科
J Am Soc Echocardiogr. 2011 Feb;24(2)	Left ventricular hypertrophy causes different changes in longitudinal, radial, and circumferential mechanics in patients with hypertension: a two-dimensional speckle tracking study.	神津英至	第二内科
Eur Respir J	Pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis	高橋弘毅	第三内科
Gastrointest Endosc	Argon plasma coagulation treatment of hemorrhagic radiation proctopathy:the optimal settings for application and long-term outcome	佐藤康史	第四内科

Dig Endosc	Endoscopic findings of enteropathy-type T-cell lymphoma by double-balloon enteroscopy and capsule endoscopy	佐藤康史	第四内科
Cancer Chemother Pharmacol	Phase II study of S-1, docetaxel and cisplatin combination chemotherapy in patients with unresectable metastatic gastric cancer	佐藤康史	第四内科
Neurosci Lett. 2011	Mesenchymal stem cells transmigrate across brain microvascular endothelial cell monolayers through transiently formed inter-endothelial gaps.	松下隆司	神経内科
J Alzheimers Dis. 2011	Stimulating nicotinic receptors trigger multiple pathways attenuating cytotoxicity in models of Alzheimer's and Parkinson's diseases.	川又 純	神経内科
Muscle Nerve. 2011	Anti-ryanodine receptor-positive acetylcholine receptor-negative myasthenia gravis: evidence of impaired excitation-contraction coupling.	今井富裕	神経内科
Parkinsons Dis. 2010	Toxin-induced and genetic animal models of Parkinson's disease.	久原 真	神経内科
Clin Neurophysiol. 2010	Correlation of bite force with excitation-contraction coupling time of the masseter in myasthenia gravis.	津田笑子	神経内科
Intern Med. 2010	Response of serum carboxylated and undercarboxylated osteocalcin to risedronate monotherapy and combined therapy with vitamin K(2) in corticosteroid-treated patients: a pilot study.	保月隆良	神経内科
レジデント	神経内科でみる意識障害	齊藤正樹	神経内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Transcriptional activation of NAD <sup>+</sup> -dependent protein deacetylase SIRT1 by nuclear receptor TLX	岩原直敏	神経内科
北海道公衆衛生学雑誌	パーキンソン病患者のQOLに対する抑うつの影響	韓 萌	公衆衛生/神経内科
総合リハビリテーション	パーキンソン病患者の抑うつ症状と嚥下障害との関連	韓 萌	公衆衛生/神経内科
外科	【必読 最新の肝切除(その1)】最新の肝予備能評価	平田公一	第一外科
外科治療	【マスターしておきたい縫合・吻合法の実際 より安全・確実に行うために】縫合・吻合法の基本的事項 皮切と皮膚縫合法の実際	沖田憲司	第一外科
消化器外科	【外科当直医必携】救急外来当直医必携 専門医に診てもらおうべき救急患者 急性膵炎	平田公一	第一外科
外科	【研修医必読 外科感染症のup to date】高リスク例の感染予防対策	川本雅樹	第一外科
北海道外科雑誌	原発巣切除versus非切除 根治切除不能Stage IV大腸癌に対する治療方針	古畑智久	第一外科
北海道外科雑誌	胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡(補助)手術の経験	及能大輔	第一外科
北海道外科医報	がん治療の新たな展開 癌ワクチン・免疫療法の実際と展望	平田公一	第一外科
肝・胆・膵	【膵嚢胞性疾患の新展開】IPMN IPMN術後残膵の病変 切除例、サベイランスを含め	木村康利	第一外科
侵襲と免疫	外科侵襲と生体反応 UTIノックアウトマウスの肝切除後肝再生に関する検討	信岡隆幸	第一外科
外科	【腹部・臓器出血の診断と治療】膵炎による出血	今村将史	第一外科
Surgery Frontier	【ロボット手術と最新の内視鏡外科手術】内視鏡外科手術、ロボット手術の現状と将来	平田公一	第一外科
臨床外科	【新しいエネルギーデバイスの構造と使い方のコツ】[内視鏡下手術への応用]腹腔鏡下肝癌手術における新しいエネルギーデバイス	水口 徹	第一外科
消化器外科	【エキスパートに学ぶ胃切除後の再建法】噴門側胃切除術 空腸嚢間置術	信岡隆幸	第一外科
日本外科学会雑誌	【消化器外科における栄養管理の現状と展望】NSTの現状と展望	平田公一	第一外科
外科	【必読 セカンドオピニオン】肝胆膵 急性膵炎	平田公一	第一外科
消化器外科	【リンパ節郭清 最近のコンセプト】膵頭部癌に対するリンパ節郭清	平田公一	第一外科
臨床外科	【T4の癌 臓器別特性と治療戦略】各臓器におけるT4癌の取り扱い	平田公一	第一外科
日本臨床	【肝・胆道系症候群(第2版) その他の肝・胆道系疾患を含めて 肝外胆道編】胆嚢 炎症、感染症 急性胆嚢炎	木村康利	第一外科

外科治療	【外科医に必要な輸血の知識】新鮮凍結血漿輸血の実際	西館敏彦	第一外科
癌の臨床	【Stage IV胃癌における外科治療の有用性】Stage IV胃癌に対する集学的治療の治療成績 術前 Docetaxel/CDDP/S1(DCS)療法の有効性	原田敬介	第一外科
日本外科感染症学会雑誌	【肝・胆・膵外科における感染症に対する治療戦略】肝切除術創部管理に関する検討 真皮埋没縫合と皮下持続吸引ドレナージの有用性について	川本雅樹	第一外科
日本げ感染症学会雑誌	ローカルSSIサーベイランス2007 最新の報告を10年分と比較して	水口 徹	第一外科
日本げ感染症学会雑誌	【外科感染症領域の診療ガイドラインを検証する】外科感染症領域の診療ガイドラインをひもとく	水口 徹	第一外科
Surgery Today	Inhibition of osteopontin reduces liver metastasis of human pancreatic cancer xenografts injected into the spleen in a mouse model.	平田公一	第一外科
Ann Oncol	Phase II study of S-1 plus leucovorin in patients with metastatic colorectal cancer.	古畑智久	第一外科
Exp Mol Pathol	The feasibility of Cep55/c10orf3 derived peptide vaccine therapy for colorectal carcinoma.	平田公一	第一外科
Am J Pathol	Transcriptional control of tight junction proteins via a protein kinase C signal pathway in human telomerase reverse transcriptase-transfected human pancreatic duct epithelial cells.	山口洋志	第一外科
J Immunol	Spatiotemporal regulation of heat shock protein 90-chaperoned self-DNA and CpG-oligodeoxynucleotide for type I IFN induction via targeting to static early endosome.	奥谷浩一	第一外科
Surgery Today	Laparoscopic hepatectomy: a systematic review, meta-analysis, and power analysis.	水口 徹	第一外科
J Neurosurg Spine 13 : 267-275, 2010.	Symptomatic relevance of intravertebral cleft in patients with osteoporotic vertebral fracture.	Kawaguchi S	整形外科
Eur Spine J 19 : 901-906, 2010.	Conversion to hypertrophic vertebral pseudarthrosis following percutaneous vertebroplasty.	Kawaguchi S	整形外科
Clin Nucl Med 35 : 192-193, 2010.	FDG PET-CT evaluation of granular cell tumor of the soft tissue.	Hamada K	整形外科
J Hand Surg [Am] 35 : 552-8, 2010.	The effect of epitendinous suture technique on the gliding resistance during cyclic motion following flexor tendon repair: A cadaveric	Moriya T	整形外科
J Orthop Res 28 : 1475-1481, 2010.	Effect of core suture technique and type on the gliding resistance during cyclic motion following flexor tendon repair: A cadaveric study.	Moriya T	整形外科
J Med Case Reports 4 : 166-171, 2010.	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging of the ulnar nerve in cubital tunnel syndrome.	Iba K,	整形外科
J Orthop Surg Res 5 : 88 (Epub ahead), 2010.	Efficacy of radial styloid targeting screws in volar plate fixation of intra-articular distal radial fractures: a biomechanical study in a cadaver fracture model.	Iba K	整形外科
Int J Clin Oncol 15 : 416-419, 2010.	Giant cell tumor of the sacrum treated with selective arterial embolization.	Onishi H	整形外科
J Clin Pathol 63 : 124-128, 2010.	Angiomatoid fibrous histiocytoma including cases with pleomorphic features analysed by fluorescence in situ hybridisation.	Matsumura T	整形外科
J Med Case Reports 4 : 166-171, 2010.	Five-year follow-up of Japanese patients with Paget's disease of bone after treatment with a dose of oral alendronate: a case series.	Iba K	整形外科
Neurol Med Chir (Tokyo) 50: 720-726, 2010.	Surgical treatment for glioma: extent of resection applying functional neurosurgery.	Mikuni N, et al	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) 50: 622-626, 2010.	Intravenous methylprednisolone reduces the risk of propofol-induced adverse effects during Wada testing.	Mikuni N, et al	脳神経外科
Neurosurg Rev 33; 271-284, 2010.	Pathogenesis of syringomyelia associated with chiari type I malformation: review of evidences and proposal of a new hypothesis.	Koyanagi I, et al	脳神経外科
Brain Res 1343; 226-235, 2010.	Intravenous administration of mesenchymal stem cells derived from bone marrow after contusive spinal cord injury improves functional outcome.	Osaka M, et al	脳神経外科

Neurol Med Chir 50; 306-309,2010.	Hyperperfusion syndrome after clipping an unruptured cerebral aneurysm:two case reports.	Sugino T, et al	脳神経外科
FEBS Lett 584; 2821-2826, 2010.	Protein deacetylase SIRT in the cytoplasm promotes nerve growth factor-induced neurite outgrowth in PC12 cells.	Sugino T, et al	脳神経外科
Acta Neurochir 152; 1055-1059.2010.	Skull base training and education using an artificial skull model created by selective laser sintering.	Wanibuchi M, et al	脳神経外科
Brain Res 1334; 84-92, 2010.	Therapeutic time window of mesencymal stem cells derived form bone marrow after cerebral ischemia.	Komatsu K, et al	脳神経外科
J Neurooncol 99; 147-153, 2010.	Glioblastoma simultaneously present with adjacent meningioma:case report and review of the literature.	Suzuki K, et al	脳神経外科
Cerebrovasc Dis 30: 491-499, 2010	Practical decison-making in the treatment of unruptured cerebral aneurysm in Japan: The U-CARE Study.	Akiyama Y, et al	脳神経外科
Neurosurgery 2010 Dec 30. (Epub ahead of print)	Intraoperative indocyanine green ideoangiography for sinal vascular lesions.	Murakami T, et al	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien)152: 1055-1059, 2010	Skull base training and education using an artificial skull model created by selectie laser sintering.	Wanibuchi M, et al	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien)152: 1245-1249, 2010	Pulsatile wail moement of spinal arachnoid cyst deteriorates spinal cord symptoms: report of three cases.	Baba T, et al	脳神経外科
脳外 38;523-530,2010.	前脈絡叢動脈と後交通動脈の起始に関する検討.	飯星智史、他	脳神経外科
脳外誌 19;32-40,2010.	一般脳神経外科医が知っておくべき subspecialty の知識-頸椎症:前方からか後方からか-	小柳 泉、他	脳神経外科
脊椎脊髓 23;129-134,2010.	特集:非腫瘍性髄内病変の診断と治療-頸椎変性疾患による浮腫性髄内病変-	吉藤和久、他	脳神経外科
脊椎脊髓 23;423-428,2010.	第2章:疾患編2.最近の知見、新たな疾患概念の画像所見-脊髄空洞症-	村上友宏、他	脳神経外科
小児の脳神経 35;316-320,2010.	神経内視鏡を用いた新生児水頭症の治療経験-胎児脳内脳室内出血後水頭症治療の問題と工夫.	越智さと子、他	脳神経外科
Annual Review 神経 2010:141-147,2010.	各種疾患 脳血管障害 Cerebral Microbleeds.	今泉俊雄	脳神経外科
脳神経外科速報.2010; 20:687-696.	脳機能部位に存在するグリオーマの摘出術.	三國信啓	脳神経外科
CLINICAL NEUROSCIENCE 2010;28:1115-1117	覚醒下手術と大脳機能局在.	三國信啓	脳神経外科
日本臨床 2010;68 増刊 10新時代の脳腫瘍学: 359-362.	「新時代の脳腫瘍学 診断・治療の最前線」脳腫瘍の治療 脳腫瘍の外科療法 解剖学的・生理学的脳機能評価と手術.	三國信啓、他	脳神経外科
EBM 脳神経外科疾患の治療 2010-2011.東京:中外医学社;2010.pp313-	内側側頭葉てんかん:手術適応の診断基準と治療戦略は?.	三國信啓	脳神経外科
Oncol Rep	Stain-mediated reduction of osteopontin expression induces apoptosis and cell growth arrest in ovarian clear cell carcinoma	松浦 基樹	産婦人科
Int J Clin Oncol	First case of vaginal radical trachelectomy in a pregnant Japanese woman	岩見 菜々子	産婦人科
Pediatr Intl 2010;52:4-5	Axillary cellulitis as a manifestetion of Kawasaki disease	Tsutsumi H	小児科
Peditr Transplantaion 2010;14:4-10	Successful treatment of refractory Langerhans cell histiocytosis with pulmonary aspergillosis by reduced-intensity conditioning cord blood transplantation	Tsutsumi H	小児科
Peditr Transplantaion 2010	Platelet transfusion refractoriness attributable to HLA antibodies produced by donor-derived cells after allogeneic bone marrow transplantation from one HLA-antigen-mismatched mother	Tsutsumi H	小児科
Peditr Intl 2010	Rotavirus encephalitis and crebellitis with reversible magnetic resonace signal changes	Tsutsumi H	小児科
Scandinavian J infect Dis 2010	Clinical characteristics and computedtomography findings in children with 2009 pandemic influenza A (H1N1) viral pneumonia	Tsutsumi H	小児科
J Peditr Infect Dis 2010;5:299-302	Piriformis muscle abscess associated with pyogenic sacroillitis	Tsutsumi H	小児科

J Dermatol 37:1-10,2010	Rab is a critical mediator in vesicular transport of tyrosinase-related protein 1 in melanocytes	Hida T	皮膚科
J Interferon Cytokine Res 30:349-57,2010	Increased caspase-2 activity is associated with induction of apoptosis in IFN-beta sensitive melanoma cell lines	Kamiya T	皮膚科
Cancer Sci 101:1939-1946,2010	Melanoma-targeted chemo-thermo-immuno (CTI) -therapy N-propionyl-4-S-cysteaminylphenol-magnetite nanoparticles via heat shock protein-peptide complex release	Sato A	皮膚科
J Skin Cancer. 2011;2011:450472. Equb2010 Sep23	A case of cystic basal cell carcinoma which shows a homogenous blue/black area under dermatoscopy	Yoneta A	皮膚科
形成外科診療プラクティス	皮弁外科・マイクロサージャリーの実際。挙上～血管吻合の基本から美容的観点を含めて～。E. 再建部位別の標準的な皮弁手術。4. 耳介の再建	四ッ柳高敏	形成外科
使える皮弁術	局所皮弁法および小皮弁術。逆行性顔面動脈皮弁。一特に外鼻、口唇の再建-使える皮弁術。一適応から挙上法まで	山下 建	形成外科
エキスパート形成再建外科手術	耳甲介型小耳症に対する肋軟骨移植術を用いた耳介形成術	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科	Ⅲ 頭頸部疾患 副耳・耳瘻孔	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科	Ⅲ 頭頸部疾患 その他の耳介先天異常	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科	Ⅲ 頭頸部疾患 耳垂の先天異常	四ッ柳高敏	形成外科
PEPARS	特集/耳介の形成外科 耳甲介型小耳症に対する耳介形成術	四ッ柳高敏	形成外科
J. plast. reconstr. Aesthet. Surg 2010 63(4) 583-588	Reverse facial artery flap from the submental region.	Yamauchi M, Yotsuyanagi T	形成外科
J. plast. reconstr. Aesthet. Surg 2010 63(4) 693-699	Modified thin abdominal wall flap(glove flap) for the treatment of acute burns to the hands and fingers.	Urushidate M, Yotsuyanagi T	形成外科
J. plast. reconstr. Aesthet. Surg 2010 63 e519-e519	Three cases of giant pilomatrixoma-considerations for diagnosis and treatment of giant skin tumours with abundant inner calcification present on the upper body.	Yamauchi M, Yotsuyanagi T	形成外科
Proceeding of Airway Seretion Research Vol.X II	Expression and localization of the muscarinic receptor in human nasal mucosa	Hideaki Shirasaki	耳鼻咽喉科
中外医学社 EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2010-	IgG4関連唾液腺疾患のEBMとは	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科
Pharmacological Research	PPAR $\gamma$ agonists upregulate the barrier function of tight junctions via a PKC pathway in human nasal epithelial cells	Noriko Ogasawara	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 第15回 北日本頭頸部治療研究会 第53巻 補冊 第1号	札幌医科大学における中咽頭癌症例の検討	近藤 敦	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 103巻 8号:743-46,2010	ガン腫16例の臨床的検討	計良 宗	耳鼻咽喉科
JOHNS Vol.26 No.9 2010	特集 お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科Q&A 2010	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会誌 Vol.31 No2:131-134, 10	通年性鼻アレルギー症例に対する免疫療法とレーザー手術の併用療法	白崎 英明	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 第82巻第10号 2010年9月20日発行	涙囊原発移行上皮癌の1例	松宮 弘	耳鼻咽喉科
診断と治療社 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研修ノート 2011年1月27日発行	扁桃・咽頭疾患	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 83(2)、159-162, 2011	呼吸困難にて治療を要した乳児舌根部嚢胞の一例	小幡 和史	耳鼻咽喉科
The American Journal of Pathology. Vol.178,No1,January 2011	Arachidonate 5-Lipoxygenase Establishes Adaptive Humoral Immunity by Controlling Prmary B Cells and Their Cognate T-Cell Help	Tutomu Nagashimai	耳鼻咽喉科
市立室蘭総合病院医誌 第35巻 1号	披裂軟骨脱臼症の1例	計良 宗	耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科診療 私のミニマム・エッセンシャル 全日本病院出版会 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 第83巻5号 2011年増刊号	鼓膜切開はどの時期に行うべきか？ 鼓膜・外耳道に所見のない耳痛をどう考えるか？ 顎関節症にどう対処するか？	黒瀬 誠	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 第104巻 5号 2011年	扁桃炎・扁桃周囲膿瘍	関 伸彦	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 第83巻 6号 2011年5月20日	篩骨洞に発症した成人横紋筋肉腫の2例	荒 志保子	耳鼻咽喉科
JOHNS Vol.27 No6 2011	鼻副鼻腔に発生した respiratory epithelial adenomatoid hamartoma症例	野村 一顕	耳鼻咽喉科
カレントセラピー 2010; 28: 108-112	扁桃病巣疾患	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科
精神神経学雑誌 2010; 112: 49-53	アルコール使用障害の病態と治療 診断と治療総論.	齋藤利和	神経精神科
老年精神医学雑誌 2010; 21: 253-260	精神科医療における非自発的治療および行動制限について若手の視点で考える 急性期統合失調症に対する初期治療と行動制限について若手精神科医を対象とした意識調査から.	館農 勝	神経精神科
臨床精神医学 2010, 39: 421-424	レビー小体型認知症とアルツハイマー病におけるアポリタンパクE4の頻度.	小林清樹	神経精神科
医学のあゆみ 2010; 233; 1154-1168	不安の病理と治療の今日的展開 物質依存と不安.	館農勝	神経精神科
Bipolar Disorder 2010: 8: 169-183	アルコール・薬物関連障害と精神疾患の併存.	橋本恵理	神経精神科
月刊レジデント 2010: 3; 28-34	双極性障害の併存症とそれに応じた治療 アルコール症の併存 感情障害と薬物依存.	齋藤利和	神経精神科
精神神経学雑誌 2010; 112: 780-786	救急場面での状態像からみた精神疾患の診断と初期対応 アルコール離脱せん妄.	吉永敏弘	神経精神科
ストレス科学 2010; 25: 167-177	精神障害が併存するアルコール依存症の病態と治療 アルコール依存症と気分障害.	橋本恵理	神経精神科
精神神経学雑誌 2010; 112: 764-765	ストレスによる脳神経回路網変異・障害と修復の分子メカニズム.	鶴飼渉	神経精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2010; 64(2):199-201	精神障害が併存するアルコール依存症の病態と治療.	齋藤利和	神経精神科
J Physiol Sci. 2010; 60: 303-307	Attitudes of early-career psychiatrists in Japan toward child and adolescent psychiatry and their career decision.	Tateno M	神経精神科
J Comp Physiol A. 2010; 196: 519-528	Spontaneous respiratory rhythm generation in in vitro upper cervical slice preparations of neonatal mice.	Kobayashi S	神経精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2010; 34: 1450-1454	Raphe modulation of the pre-Bötzinger complex respiratory bursts in in vitro medullary half-slice preparations of neonatal mice.	Kobayashi S	神経精神科
Psychiatry Investigation 2011; 8: 67-70	Effect of antidepressants on brain-derived neurotrophic factor (BDNF) release from platelets in the rats.	Watanabe K	神経精神科
精神科 2010; 18; 223-233	Pervasive Developmental Disorders and Autism Spectrum Disorders: Are These Disorders One and the Same?	Tateno M	神経精神科
精神科 2011; 18: 600-606	石灰沈着を伴う慢性神経原線維変化病(DNTC)が疑われた1例～最新の画像診断技術を用いた脳機能画像所見を含めて～.	小林清樹	神経精神科
札幌市内科医会会報 2011: 18	アンケート調査に基づくひきこもりの精神医学的背景に関する検討.	館農 勝	神経精神科
臨床精神薬理 2011; 14: 1967-1703	内科医にも可能な認知症の診断と治療—画像診断の重要性を含めて—.	小林清樹	神経精神科
臨床放射線	治療抵抗性を含む長期間治療に難渋した慢性統合失調症に対するblonanserinの有効性.	佐々木竜二	神経精神科
Jpn J Radiol	Stage, II Aの直腸癌に対してS-1併用の放射線治療を施行しpCRを得られた2例	浅井真友美	放射線治療科
詳説 強度変調放射線治療 ～物理・技術的ガイドラインの詳細～	Gadolinium-enhanced dynamic magnetic resonance imaging with endorectal coil for local staging of rectal cancer	Tamakawa M	放射線治療科
がん・放射線療法2010	Q81 87 臨床導入	館岡邦彦	放射線治療科
がん・放射線療法2010	放射線腫瘍総論 放射線治療認定制度(医師、施設)	晴山雅人	放射線治療科
がん・放射線療法2010	造血器腫瘍 白血病	坂田耕一	放射線治療科
がん・放射線療法2010	医学物理学 電子線の線量測定と治療計画	館岡邦彦	放射線治療科



TaKuMi	広頸性の脾動脈瘤に対するGDCTM360°の有用性	廣川直樹	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Stereotactic Body Radiotherapy (SBRT) for Operable Stage I Non-Small-Cell Lung Cancer: Can SBRT Be Comparable to Surgery?	Onishi H	放射線治療科
メディカル・サイエンス・インターナショナル	8. セボフルランの呼吸器系に及ぼす影響。セボフルラン—基礎を知られば臨床がわかる。稲田英一編	山蔭道明	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
徹底ガイド第2版。篠崎正博, 秋澤忠男編	IV. 急性血液浄化法の適応疾患 26. 敗血症 急性血液浄化法	今泉 均	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
救急・集中治療ガイドライン—最新の治療指針—2010-11. 岡元和文編	III. ショックの治療 27. 出血性ショックの治療方針	今泉 均	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
別冊・医学のあゆみ『最新ARDSのすべて』。石井芳樹編	III. 溺水によるARDS - 肺サーファクタント蛋白, KL-6からみた病態と治療	今泉 均	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
克誠堂出版	基礎編2. 神経筋伝達の解剖と生理. Bシナプス伝達. 筋弛緩薬. 岩崎 寛編	成松英智	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
克誠堂出版	基礎編3. 筋弛緩薬の作用機序. 筋弛緩薬. 岩崎 寛編	成松英智	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
(株)技術情報協会編, 東京	7. Ca <sup>2+</sup> チャネルブロッカー. 1章: 有望な鎮痛カスケードの開発動向. 4部: 治療・臨床を意識したこれからの疼痛治療薬開発動向. 慢性疼痛における薬剤選定と治療薬開発	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
メディカル・サイエンス・インターナショナル	XII. 代謝の生理学. 第10章: 基礎的生理学とモニタリング. 周術期管理チームテキスト. 日本麻酔科学会編	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
メディカル・サイエンス・インターナショナル	XIII. 体温測定. 第10章: 基礎的生理学とモニタリング. 周術期管理チームテキスト. 日本麻酔科学会編	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
総合医学社, 東京	腰椎椎間関節ブロック. 麻酔科学レクチャー2 末梢神経ブロックQ&A. 柴田康之編	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
克誠堂出版(株)	2-2硬膜外ブロック(胸部Th1-6). 超音波ガイド下脊管・傍脊椎ブロックと超音波画像ポケットマニュアル. 廣田和美, 佐藤 裕, 瀬尾憲正, 小松 徹編	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
克誠堂出版(株)	4-2仙骨神経根ブロック. 超音波ガイド下脊管・傍脊椎ブロックと超音波画像ポケットマニュアル. 廣田和美, 佐藤 裕, 瀬尾憲正, 小松 徹編	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
克誠堂出版	基礎編2. 神経筋伝達の解剖と生理. Cシナプス伝達後の筋線維収縮. 筋弛緩薬. 岩崎 寛編	新谷知久	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
エルゼビア・ジャパン	第39章. ガス交換の生理学的基本原理. 肺胞膜を介した酸素と二酸化炭素の拡散. ガイトン生理学(第11版翻訳). 「Textbook of Medical Physiology. 11th edition. ed. by Guyton AC, and Hall JE, WB Saunders, 2005」	山蔭道明	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
エルゼビアジャパン	第22章 超音波ガイド下の脊髄くも膜下ブロックおよび硬膜外ブロック(Stephen Roberts). 翻訳「周術期超音波診断・治療ガイド」	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
エルゼビアジャパン	第9章重症患者に対する心臓超音波検査(Frances Colreavy). 翻訳「周術期超音波診断・治療ガイド」	新谷知久	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
薬局 201	2. いまなぜ手術室に薬剤師が必要なのか? 2) 麻酔科医の立場から. 特集「周術期患者の薬学管理—はじめの一步」	山蔭道明	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
日臨麻会誌 2010	吸入麻酔薬の最近の知見	山蔭道明	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
医学のあゆみ 2010	麻酔の深度と手術患者の覚醒. 特集「麻酔の質と手術患者の覚醒」	山蔭道明	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
呼吸器ケア2010(夏季増刊号)	呼吸療法のための画像診断 11. 肺・気管内出血	今泉 均	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
呼吸器ケア2010	そのときどうする? 呼吸ケアの急変対応—呼吸困難・急性呼吸不全への対応—	今泉 均	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
北海道整形災害外科学会雑誌 2010	整形外科疾患に対するペインクリニック. 誌上シンポジウム「整形外科領域における痛み」	山内正憲	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
LiSA 2010	術後に高熱を出した患者. 症例検討「麻酔歴に問題がある患者のインフォームド・コンセントと麻酔3」	宮下 龍	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
文光堂, 東京. 2010	第2部 術中・術後. 第IX章 中枢・末梢神経系. 「シパリングがある」. 麻酔科トラブルシューティングAtoZ. 高崎真弓, 河本昌志, 川真田樹人, 岡本浩嗣編	宮下 龍	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座

文光堂, 東京. 2010	第2部術中・術後. 第XI章モニター・医療機器・安全管理. 「体温が上昇してきた」. 麻酔科トラブルシューティングAtoZ. 高崎真弓, 河本昌志, 川真田樹人, 岡本浩嗣編	宮下 龍	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
文光堂, 東京. 2010	第2部術中・術後. 第XI章モニター・医療機器・安全管理. 「長時間手術で術中低体温になった」. 麻酔科トラブルシューティングAtoZ. 高崎真弓, 河本昌志, 川真田樹人, 岡本浩嗣編	宮下 龍	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
臨床麻酔2010	臨床麻酔誌上セミナー'10 エンドトキシン吸着の適応と効果	吉田真一郎	札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
日口腔外会誌 2010;56:476-479	呼吸障害をきたした口低部巨大類表皮嚢胞の1例	上田 愛	口腔外科
Asian J Oral and Maxillofacial Surg	A case of extensivu mandubular osteomyelitis in a patient receiving hemodialysis	萩 和弘	口腔外科
Clin Chim Acta 2010, 411	Prevalence of human anti-mouse antibodies (HAMAs) in routine examinationns.	Koshida S	検査部
Clin Lab 2010, 56	Comparison of four direct homogeneous methods for the measurement of low-density lipoprotein cholesterol.	Yamada K	検査部
Jpn J Infect Dis 2010, 63	Evaluation of spa typing for the classification of clinical methicillin-resistant staphylococcus aureus isolates.	Furuya D	検査部
Anticancer Res 2010, 30	High prevalence of human anti-mouse antibodies in the serum of colorectal cancer patients.	Goto M	検査部
Clin Chim Acta 2010, 411	Evaluating the utility of N1, N12-diacetylspermine and N1,N8-diacetylspermidine in urine as tumor markers for breast and colorectal cancers.	Umemori Y	検査部
Int J Oncol 2011, 38	SALL4 is essential for cancer cell proliferation and is overexpressed at early clinical stages in breast cancer.	Kobayashi D	検査部
Oncol Rep 2011, 26	Overexpression of SALL4 in lung cancer and its importance in cell proliferation.	Kobayashi D	検査部
Echocardiography 2011, 28	Quantitative measurement of circumferential carotid arterial strain by two-dimensional speckle tracking imaging in healthy subjects.	Yuda S	検査部
Int J Oncol 2011, 38	(-)-Epigallocatechin-3-gallate induces apoptosis in gastric cancer cell lines by down-regulating survivin expression.	Onoda C	検査部
Int J Oncol 2011, 39	Sesamin induces autophagy in colon cancer cells by reducing tyrosine phosphorylation of EphA1 and EphB2.	Tanabe H	検査部
Pathol Int	Primary retroperitoneal spindle cell liposarcoma: pathological and immunohistochemical findings.	Shioi Y	病理診断学
Cancer Sci	Pleomorphic phenotypes of gastrointestinal stromal tumors at metastatic sites with or without imatinib treatment.	Sakamoto K	病理診断学
Pathol Int	Use of tissue microarrays and immunohistochemistry to standardize the diagnosis of gastrointestinal stromal tumors.	Ogino J	病理診断学
Am J Surg Pathol	Gene expression profiling of synovial sarcoma: distinct signature of poorly differentiated type.	Nakayama R	病理診断学
Anticancer Res	Myxoid liposarcoma with EWS-CHOP type 1 fusion gene.	Suzuki K	病理診断学

計209

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	札幌医科大学附属病院長 塚本 泰司
管理担当者氏名	病院課長 白戸 昌義 / 患者サービスセンター長 川手 雅紀 / 薬剤部長 宮本 篤 / 医療安全推進部長 山下 敏彦 / 感染制御部長 渡邊 直樹

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		病院課、各診療科 、カルテ庫、各記 録関係部科	病歴資料については、各診療 科毎に作成し、カルテ庫で管 理（一診療科一カルテ） エックス線写真については 、各診療科とカルテ庫におい て保管管理	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳 簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	各診療科		
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	各診療科		
	高度の医療の研修の実績	病院課		
	閲覧実績	—		
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事センター		
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳 簿	病院課及び薬剤部		
	第規 一則 号第 一 掲条 げの る十 体一 制第 一 確項 保各 の号 状及 び第 九条 の二 十三 第一 項	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況	医療安全推進部	
		医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況	医療安全推進部	
		医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況	医療安全推進部	
	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療安全推進部		
	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療安全推進部		
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	感染制御部		
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療安全推進部		
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況	患者サービスセ ンター		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	業務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	業務課
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	業務課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	業務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学理事長 島本 和明
閲覧担当者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局企画管理部 総務課長 齋藤 仁
閲覧の求めに応じる場所	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局企画管理部総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.7 %	算定期間	平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,231人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,000人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,035人
	D: 初診の患者の数		19,115人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・指針の主な内容：</p> <p>○「札幌医科大学附属病院における安全管理指針」 医療の安全管理に関する基本方針を定めるとともに院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について 9 項目を規定している。</p> <p>1 総則 2 医療安全管理のための組織体制 3 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4 安全管理のための職員研修の実施 5 医療事故発生時の対応方法 6 患者相談窓口の設置 7 安全な医療を提供するためのマニュアル・ガイドライン 8 本指針の閲覧 9 附則</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況（平成 2 2 年度）	年 4 9 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>○医療事故防止対策委員会 (定例) 1 2 回 医療事故の原因分析・再発防止策等の検討を実施 ○安全対策委員会 (定例) 1 1 回 インシデントの原因分析・再発防止策の検討、マニュアル等の検討 *各検討結果を現場へフィードバックし、周知徹底を図っている ○医療クオリティ審議委員会 (随時) 4 回 傷害レベル 3 b 以上の緊急または既事案について調査、検討し、事故か否かを判断 ○リスクマネージャー連絡会議 (定例) 4 回 インシデントの周知徹底を図り、注意喚起した (メール配信) 1 5 回 電子メール等による各リスクマネージャーからの問い合わせ又は意見提起、これに対する回答等、双方向の連絡 ○医療問題調査委員会 (随時) 3 回 医療紛争に関する事項の検討</p>	
① 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況（平成 2 2 年度）	年 2 0 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>○全職員を対象とした安全対策研修 年 5 回 (講演会 2、医薬品 2、トピックス 1) ○全職員を対象とした BLS・AED 講習会 年 6 回 ○その他医師、看護師・看護助手を対象とした研修会 年 9 回 (トピックス 6、KYT 3)</p>	
② 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)</p> <p>○「医療事故発生・発見時の対応について」(平成 1 4 年 1 1 月 1 日病院長決定)により事故等の区分を 6 段階にレベル分けし、院内報告の仕方や取り扱いを明らかにするとともに、再発防止策の検討方法を規程している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○医療安全確保のための業務改善計画書に基づく巡回点検の実施 各部署において「業務改善計画書」を作成・提出させ、医療安全推進部長、G・R・M、医療事故防止対策委員が診療科等を巡回、当該計画書の実施状況を確認の上、状況に応じた指導を行った。今年度においては更に全科に緊急時対応のシミュレーションを行うよう企画させた。</p> <p>○医療安全推進週間の開催 医療安全対策に関し、医療関係者の意識の向上、また、医療機関における組織的取組の促進などを図る目的で開催した。取組内容は、医療安全講演会、各部署等の医療安全の取り組みの発表、医療安全に関わる標語・ポスターの募集を行った。</p> <p>○H22年に抗凝固薬・抗血小板薬服用中の症例に対する検査・処置・手術の際の同薬剤中止に関する院内取り扱い指針を策定し、各科に冊子を、全職員に医療安全対策マニュアルに貼付するよう抜粋したものを配付した。</p> <p>○医療安全対策マニュアルポケット版(第 4 版)の発行に向けて、医療事故防止対策委員会及び安全対策委員会において内容の精査・見直しを行っている。今年度内の発行を予定している。</p>	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名)
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 4 ) 名</li> <li>・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○附属病院における安全対策の総合企画・総合調整</li> <li>○事故発生報告書及びインシデントレポートに基づく事故原因の分析及び再発防止策の検討業務</li> <li>○再発防止策等について診療科・看護室等のリスクマネージャーを通じて現場への指導</li> <li>○再発防止策のマニュアル化及びその周知徹底</li> <li>○安全管理に関する最新情報をリスクマネージャー連絡会議、リスクマネジメントニュースの発行を通じて全職員へ周知徹底</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
<p>・ 指針の主な内容</p> <p>○ 「札幌医科大学附属病院院内感染対策指針」</p> <p>札幌医科大学附属病院における院内感染対策に関する基本事項について、規定したものである。院内感染対策についての意識の向上に、資するものである。</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための管理体制・組織          3. 院内感染対策のための職員研修 4. 感染症の発生状況の報告 5. 院内感染発生時の対応          6. 患者等に対する本指針の閲覧 7. その他の院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 48 回
<p>・ 活動の主な内容</p> <p>○ 院内感染防止委員会 (ICC) 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の審議と決定を、最高決定機関として行う。</p> <p>○ Infection Control Team (ICT) 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の検討を、実働部隊として行う。</p> <p>○ リンクドクター会議 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況の周知をする。臨床現場における感染対策に関わる事項の情報収集と、具体策の指導を行う。</p> <p>○ リンクナース会議 定例12回 院内における感染情報、手指消毒剤使用状況の周知をする。コンサルテーションに関する情報提供や、感染対策についての指導を行う。</p>	
③ 従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 32 回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>○ 病院感染対策講習会 3回 全職員を対象とする。</p> <p>○ 清掃委託業者における病院感染対策講習会 2回 清掃委託業者全員を、対象とする。</p> <p>○ リンクドクター講習 12回 リンクドクターを、対象とする。</p> <p>○ リンクナース講習 12回 リンクナースを、対象とする。</p> <p>○ 研修医と中途採用医師への講義 2回 研修を受ける医師と中途採用の医師を、対象とする。</p> <p>○ 新採用看護師への講義 1回 新採用された看護師全員を、対象とする。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無 )</p> <p>○ 「感染症発症連絡票」を用いて、患者や職員の感染症発生に関する報告を受けている。</p> <p>○ 感染対策ソフトで院内の菌やウイルスの検出状況を把握し、必要に応じて各部署の責任者等へ詳細報告を求めている。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○ 広報誌「CLEAN HOSPITAL」を発行し、院内における検出菌の情報提供や感染症についての注意喚起をした。</p> <p>○ ICTメンバーによる病棟ラウンドを実施し、臨床現場の現状把握や改善内容の提案をした。</p> <p>○ 大学事業として、学生や職員のウイルス疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）の抗体価検査を企画し、採血業務のみならず検査部と協力し円滑に実施した。</p> <p>○ 職員へのインフルエンザワクチン接種事業を、継続して感染制御部が所掌することになった。</p>	



(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容： 安全使用のため、特に高度な技術の習得が考えられる医療機器の「有効性・安全性に関する事項」「使用方法に関する事項」「保守点検に関する事項」「不具合が生じた場合の対応に関する事項」「使用に際して、特に法令上遵守すべき事項」について研修を行った。また、新たに導入した医療機器についても導入時に同様の研修を行った。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 平成19年3月30日付け厚生労働省通達に基づく次の医療機器のほか、高額医療機器および在宅用機器に貸し付けている医療機器を保守点検している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器安全管理責任者を設置し、ME機器センターにおいて医療機器の添付文書、取扱説明書などの情報を整理、管理し医療機器の不具合情報や安全情報等を製造販売業者等から一元的に収集し、得られた情報を担当者に適切に提供する。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○平成22年度トピックス研修会（全4回） 「エビデンスに基づいた医薬品の安全管理・危機管理 ver. 4」 講師：医薬品安全管理責任者、薬剤部長 「抗凝固薬・抗血小板薬の中止に関する院内取り扱い指針」 講師：第二内科准教授</p> <p>○平成22年度医薬品安全管理研修会 「薬剤の適正な使用について」 講師：北海道厚生局 清水良夫 「医療安全と保険診療」 講師：北海道厚生局 古家隆司</p> <p>○平成22年度医薬品・医療機器安全管理研修会 「医薬品・医療機器の安全管理-最近の医療安全トピックスを中心に-」 講師：医薬品医療機器総合機構 石井健介</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ 有 ）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>○医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い（収集・提供）、他施設との連携</p> <p>○手順書に基づく業務評価</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○ハイリスク薬の選定と管理・取扱い：院内周知及び管理状況の確認 ○向精神薬の適正使用の推進：電子カルテシステムの改善 ○がん化学療法：プロトコール申請及びレジメン入力の実施、薬剤部でのミキシング</p>	